

福祉館事業紹介③

うちこ福祉館の事業について第三回は、地域交流促進事業の「茶道教室」と「生花教室」をご紹介します。

茶道教室は、毎月第一・第三水曜日の午後六時半から九時半まで行っています。この教室では、お点前の稽古を通じて礼儀作法や人・物に対する思いやりと感謝の心を学ぶことができます。高校生から後期高齢者まで幅広い年齢層が一緒になって楽しんで受講しています。

生花教室は、毎月第二・第四水曜日の午後六時半から九時半まで行っています。礼儀作法や植物・季節に対する知識と美的感覚を学びながら交流することができます。

いずれも講師は、土居 美代子先生が務められ、先生が活かした作品を当館の玄関に飾っており、当館利用の方にも喜ばれています。

十一月九日(土)の福祉館まつりで作品展示並びに体験(お抹茶は有料)ができますので、ぜひ足を運んでください。初めての方も大歓迎です。見学者希望者など、興味のある方は、福祉館へご連絡ください。



令和6年
11月発行
電話・FAX
44-3410



↑ 第15回福祉館まつり 生花教室の展示作業(左)と茶道教室のお抹茶・和菓子(右)

健康講座

九月十日(火)と十月二十二日(火)に健康講座を行いました。

九月は、「いきいき脳でいつまでも健やかに」と題して内子町保健師の上山 美和さんによる講義と脳を使うレクリエーションを行いました。特にレクリエーションは、周囲の方々にもぜひ勧めたいと大好評でした。

講話の後は、内子町管理栄養士の河野 洋子さんの指導で「季節の野菜を多くとれる食事」をテーマにした料理を調理して試食しました。

十月は、「健診結果から何がわかる?」と題して内子町保健師の秦 さくらさんの講義を拝聴しました。健診結果から自らの課題を汲み取り、どう生活改善に取り組みのか、運動や治療は辛ければ健康を維持するためには必要なことです。

講義の後は、内子町管理栄養士の河野 洋子さんの指導で「バランスの良い食事」をテーマにした料理を調理して試食しました。



わいわい喫茶

九月二日(月)、十月七日(月)にわいわい喫茶を開催しました。

秋らしい気候となり、参加者もコロナ禍前の状況に戻ってきました。毎月、第一水曜日の午後、コーヒーやお茶、お菓子を楽しみながらお喋りを楽しんでください。

お気軽にお越しください。次回は、十二月二日(月)の開催です。



わいわい喫茶
令和6年10月7日(月)
メニュー:
カツケーキ



乳幼児・児童など親子連れも大歓迎!

第十六回福祉館まつり 人権講演会

十月三十日(水)十九時から第十六回福祉館まつりの先行イベントである人権講演会に、久万高原町立入野福祉館館長 森川 伸治さんを講師にお迎えして「差別への思い」と題して講演いただきました。講演を依頼するにあたり、これまで差別と向き合い実践してきた積み重ねにより導かれた、人権・同和問題に対するご自身の率直なお考えを伺いたいとお願ひしました。

中学二年生まで差別を知らず、自分たち家族が部落内外で差別を受けてきたこと。自分の置かれた立場に絶望し将来を諦めた学生時代、就業し、職や居場所を転々とするが、将来への不安よりも、逆に誰も出生地について知らない状況に部落差別からの解放感を感じていた青年時代、そして二度の結婚差別を経験。自分の辛さより、差別する人たちの間違った考えや面子(めんつ)を守るため我が子を酷く傷つけていることに気づかず人権を蹂躪する姿から差別の愚かさ気付いた。自分の存在意義と価値を見失い自殺の直前まで至ったが母のことを思い出して踏みとどまった。

人間に(日本に)絶望しかけたが信頼できる人と出会い、差別に苦しむ人をなくすよう、現在、人権意識の醸成のため、学校で子どもたちと先生方が学習できるように専門職員を雇用して派遣する仕組みを提案していること。

常に物事の裏側を疑っていると、穏やかながらも率直に厳しい言葉で語りかけますが、直ぐに優しく微笑む姿がとても印象的な講演でした。



第六十一回全国隣保館職員 四国ブロック研修会

十月十日(木)から十一日(金)に徳島県教育会館で開催された研修会に参加しました。記念講演「あきらめない心」で講師の「ちゃんへん」さんは現在、ジャグリングの世界的パフォーマーとして活躍されていますが、在日三世ということで壮絶な差別を経験されたそうです。特に印象深い話だったのは、自分が世界的なパフォーマーを目指すため渡米を決意したとき韓国籍を取得しなければならず、普段は破天荒な母が祖父母に土下座して許しを請うた話。祖父母の

願いは、朝鮮人として再び統一朝鮮国家の地を踏むことであり、現在の分裂した南北朝鮮のどちらかを選択することはその悲願を否定すること。激高する祖母に号泣し土下座する母の姿に、自分たちが何者で自身の決意が何をもちたらずのか真に理解した。我々には想像もできない程、重く辛い瞬間だったでしょう。それでも、可愛い孫の夢を叶えるためと祖父が許してくれて現在があると。

講演の冒頭のジャグリング、自らのアイデンティティを歌詞に込めた最後のラップなど、最初から最後まで啓発のみならずエンタメ性にも優れ、ぜひ子どもたちに聞いて欲しい素晴らしい講演でした。

二日目は、愛媛、高知、徳島県の全体事例報告で、隣保館の普遍的なテーマである地域住民の利用促進について、ニーズの分析、地域や学校との連携などとても参考になりました。

第十六回福祉館まつり

第16回 福祉館まつり
ふるさと社会、絆を大切にしよう！

人権講演会
10月30日(水)午後7時～
入野福祉館大ホール
「差別への思い」
講師 森川 伸治 氏

福祉館まつり(当日)
10月31日(木)午後1時～午後5時

★開会 午後10時	★バザー 午前10時～午後2時
★イベント	・うどん 300円
・健康チェック 午前10時～12時	・おにぎり 200円
・スタンプラリー 午前10時～午後1時	・フランクフルト 150円
・メッセ(2F) 午後1時～3時	・わがし 50円
★作品展示 午前10時～午後1時	・中央自治会 300円
・人権標語・ポスター	・フライングパン 100円
・内子小学校・内子中学校・内子高等学校	・東入野内子支部
・児童館 内子町子育て支援センター	・ポップコーン 100円
・35歳以上健康診断実施	・内子高校からあそび 200円
・小学生書展・生活・防災・読書展・家庭紹介	★1F～3Fで売りたい物を持ち込んで下さい
・音楽教室 体験券(4枚入り) 200円	★人権標語・ポスター展覧会
・(10月31日) 午前10時～午後1時	・中央・東入野
★手作り小物販売所	★フィナーレ(午後2時)
・ワッペンほか 午前10時～午後2時	もちまきお祭りまき
・10月31日(木) 午前10時～午後2時	

ぜひお楽しみください！
事務局：うちこ福祉館
TEL: 0990-44-3410

第十六回福祉館まつりは、十一月九日(土)午前10時の開会です。今年もバザー、手作りクッキー等の販売、健康チェック、参加型体験スタンプラリー、デコラティブペイント体験など、フィナーレのもちまきまで楽しんで下さい。児童生徒の人権標語・ポスター展示と入選作(標語は優秀作九点より最優秀作一点、ポスターは優秀作十点より最優秀作一点)十九点の表彰式を行います。

人権標語・ポスター 最優秀賞

人権標語 最優秀賞

内子小学校五年 山崎 珀緋さん

自分色 だれともちがう
いい個性

人権ポスター 最優秀賞

内子小学校二年 緒方 晶さん



みんな だいすき